

令和3年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立 貴志小 学校

作成日

令和 4年 3月 15日

1 教育目標

自ら考え、正しく判断し、進んで実践する力を身に着けた人間性豊かな貴志の子供の育成をめざす

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査で県平均正答率を上回る ・授業がわかる (児童アンケート 80%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しい (児童アンケート 80%) ・いじめ解消 (児童アンケート100%) ・図書の本を借りる (児童アンケート100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に運動に取り組んだ (教師アンケート80%) ・朝ご飯を食べた (児童アンケート100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子が伝わった (保護者アンケート90%) ・地域の方をゲストティーチャーとして招いた授業を行った。(教師75%) ・拡大現教を行い授業の交流を行った。
意見重点目標に対する	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着は、大切である。時間の許す限り、基礎力を定着させてほしい。 ・子供主体の授業を心掛けてほしい。 ・家庭学習も意欲的になれば、よりよい結果が出ると思う。それには保護者の協力が必要である。 ・目標の設定は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナやSNSでのいじめ等発見するのは難しいが、未然防止に最大限努めてほしい。 ・読書は心を耕し、読解力向上にも役立つので進めてほしい。 ・保護者と学校の信頼関係が子供に影響するので、信頼関係をより構築してほしい。 ・目標の設定は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動と基本的な生活習慣の確立が学力向上や豊かな心を育むことにつながる。 ・朝ご飯を食べることは、特に重要である。 ・目標の設定は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭・学校・地域が協力し子供を育むことは大切である。 ・ゲストティーチャーや他の学校との交流はとても良い。 ・目標の設定は適切である。
意見取組状況に対する	<ul style="list-style-type: none"> ・言語環境を整え、育成を図ることは大切である。 ・話し方・聞き方を系統的に指導することはよい。 ・算数科の取り出し授業等、一人ひとりに寄り添った指導をできるだけ心掛けてほしい。 ・目標に沿った取組みだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの前兆にいち早く気づくように、いじめアンケートの実施等取組に努めてほしい。 ・挨拶運動の取組は良い。子供たちも挨拶できるようになってきている。 ・習慣づけに力を入れている。 ・貴志小だよりからも学校の取組がわかる。 ・目標に沿った取組みだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会を見ても運動の指導をしっかりしているのがわかる。 ・大休憩・昼休憩をみんなで遊ぶことによりコミュニケーション力や体力向上に努めてくれているのがわかる。 ・教師アンケートから、色々な制約がある中、先生が頑張っているのがわかる。 ・生活習慣調べにより、生活の振り返りが出来ている。 ・工夫された取組だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の見守り活動は子供たちをホッとさせている。 ・学校だよりと学校HPの充実をお願いしたい。 ・図書ボランティアやゲストティーチャーの方が学校に来てくれると子供たちの刺激になってよい。 ・学校の取組が保護者に届いていると思う。 ・目標に沿った取組だと思う。
に取組する適切さの検証結果	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年になると、どの教科も難しくなり、理解度の差も大きくなる。 ・学力の向上やアンケート結果からも効果と先生方の尽力が見られる。 ・勉強がわからない子もしっかりサポートしてほしい。 ・家庭での勉強の取組もあり、勉強がわかる児童が増えている。今後も、学校と家庭が共に協力して学力向上に努めたいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童のアンケート結果からもわかるが、豊かな心が育っているからこそ、子供たちの、学校が楽しいの結果につながっていると思う。 ・図書の本の紹介や100文字作文の取組は良い。 ・読書はすべての勉強に共通しているので、「先生のオススメの本」等興味味も行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫して体力づくりをしている。 ・アンケートで朝ご飯食べた100%は素晴らしい。 ・共働きの家庭が多くなっている現状があり、晩御飯や就寝時間が遅くなっている。 ・食生活の多様化、遊び方の変化等で、身体能力の低下等の心配要素が多い。 ・各家庭で子どもとの遊び方等を話し合っしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりは学校の取組についてしっかり配信出来ていると思う。 ・ゲストティーチャーを招くことが困難な状況であることを非常に残念に思う。 ・保護者すべての人に了解をもらえるような取組をめざしていくために、アンケートや聞き取りなど、質問しやすい環境づくりが必要だと考える。 ・学校だよりを見ていただけない環境にあるが、より充実した内容に努めなければならぬと思う。
改善年度法に方向性に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年での学習の基礎は大切だと思っているので重点的に学力向上に取り組んでほしい。 ・GIGAスクールの進捗は学校や市町村で様々のように感じる。パソコンは現代では避けては通れないと思うので、使いこなせるように指導をお願いしたい。 ・小学校での基礎学力定着は大切なので、一人ひとりのペースをふみにじらないでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクールは今後必要でタブレット等に早くから慣れるのは大切なことである。SNS等でのいじめ問題も心配ではあるが、学校と保護者、地域が協力し、いじめの前兆をキャッチするよう取り組んでいきたい。 ・日頃からの意思疎通が十分でない児童の心の変化には気づきにくい。学校と家庭が注意深く見守ることが必要だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き基本的な生活習慣が身につくように、積極的に運動に取り組めるようにしてほしい。 ・子供の外遊びのきっかけやヒントを与えてやってほしい。 ・体力向上のためには、マラソン大会や夏のラジオ体操の取組もよいのではないかと。 ・過度にならない程度にチャレンジングに取り組んでもよいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度もコロナ禍ではあるが、無理のないようできることからやってほしい。 ・学習参観や、学校での会議もできない状況ではあるが、開かれた学校をめざしてほしい。 ・地域の方とも様々な交流が行える場を作ってほしい。

3 その他のご意見

・突然の学級閉鎖やイベント中止・縮小など日々大変ながらも、子供たちにとって最善な指導を、来年度もお願いしたい。

・GIGAスクール自体は素晴らしい取組みだが、まだまだ、学校も子どもも保護者も追いついていない気がする。

・コロナの影響が続いているが、引き続き、学校・家庭・地域の連携を密に愛される貴志小学校をめざしてほしい。

・コロナのことがあり、学校を見学する機会がほとんどないが、登下校の様子を見ると、子供たちは前向きな気持ちで登校できているように思う。